

萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？

11月に入りました。今年も残すところ、あと2カ月になってしまいました。時節の過ぎるのは何と早いことかと実感していま

す。先日、読んだ本では、時間の経つのは、年齢とともに加速するようですね。20歳なら時速20kmで、50歳ならば、時速50kmのスピードで時が進むらしいとの事です。これでは、1年があっという間に過ぎるわけですね。

「秋を探しにドライブに行ってきた。」

10月末以降から、急に朝夕が冷えてきて、すっかり秋の気配がしています。山梨はまだ、紅葉の時期ではないのですが、ドライブがてらに、秋の気配を探しに行ってきました。

場所は、中央道の韭崎インターを降りて北上していきます。茅ヶ岳とか2000m弱の山々がある通りへ車を走らせて行くと少しずつですが葉っぱが赤味を帯びてきているので、思

わずシャッターを押して秋の様子を取りこみました。回りはまだまだ、緑色の葉っぱが多い中、無理やりに紅葉の部分を枠にして収めてきました。しかし、もう1~2週間もすれば、本格的な、紅葉シーズンに入りそうな気配です。



「床ポーター石の濡れジミ」

今月の石材メンテナンスは、個人邸のガレージの見切りにサビ石が敷いてあるのですが、引き渡し前に濡れジミになっている現場からです。グレーチングと平行してサビ石が敷いてあるために水分が溜まり易くなっています。

この濡れジミは、雨水等の水分にモルタルから溶け込んだアルカリ分を含んでいるので、普通に乾燥させたままだと取りきれないシミになっています。まず、石目がエフロ等でふさがれていることがあるので、薄い酸性洗剤で石目を良くしてあげ、それからシミ抜き剤を塗布して、この濡れた状態の乾燥を速めて行きます。ある程度放置したら自然乾燥は難しいので、プロパンバーナーで急速乾燥し、石が熱い内に浸透性のコート剤を塗布して十分に染み込ませていき、浸

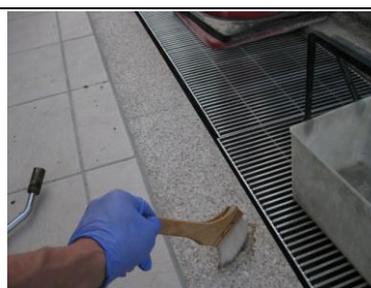
透層を作っていきます。ウエスで拭きあげて、濡れジミが取れていれば完了とします。



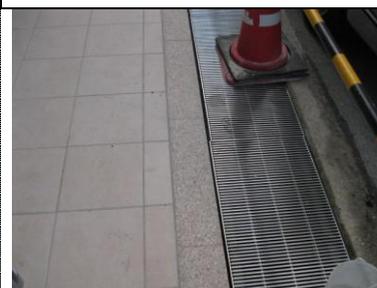
サビ石の濡れ色現象



シミ抜き剤塗布



乾燥+コート剤塗布



施工後

「十和田石浴室のカビ抜き」

十和田石で出来た浴室のシャワー前は、常に水がかかり湿気を伴い、石鹸や皮脂が飛ぶ所なので、カビが発生しやすくなります。カビは、専用の洗剤で除去が可能なので綺麗になります。カビの発生を抑えるために、抗菌入りのコート剤を塗布するのですが、乾燥が悪く為、翌日に施工します。



(編集後記) 現在、藤沢のマンションでシミ抜き施工をしています。林の近くに建っているためか、仕事に、リスやトカゲを発見しました。地元の山梨でもめったにお目にかかれないので感激しました。とてもいい所です。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp